

まちだDサミット2

Machida D Summit 2

まちだDサミット2 開催

～“認知症の人にやさしいまちづくり”のすすめかた～

市では、「認知症の人にやさしいまち」の実現に向けて、2016年度に、認知症当事者とその家族をはじめ、医療福祉関係者、行政、企業、NPO、学術研究者で話し合いを行い、「16のまちだアイステートメント(文章)」を作成しました。これは、「認知症の人にやさしいまち」のあるべき姿を、認知症当事者の視点で表したもので、まちづくりを担う方々が目指す目標となるものです。この目標の実現に向け、認知症にやさしいまちづくりに携わっている人々と、これから関わろうとする人が集い、認知症当事者ととも、これからのあり方を議論する「まちだDサミット」を、2018年11月24日に初開催しました。

「まちだDサミット」では、「“認知症の人にやさしいまちづくり”のはじめかた」をサブテーマとして、企業、医療福祉関係者、地域団体、NPO、学術研究者等様々の分野で先進的に取り組んでいる方々が一堂に会し、実践している取り組みを紹介するとともに、認知症の当事者と一緒にこれからのあり方を議論しました。

こうした地域の方の認知症に対する理解や支援の広がりを踏まえ、「“認知症の人にやさしいまちづくり”のすすめかた」をサブテーマとした「まちだDサミット2」を開催します。

「まちだDサミット2」では、新たに「介護施設」や、「お出かけ」、「買い物」、「家族の視点」を加え、介護施設に入所した方の暮らしやその家族の気持ちなど、認知症初期の方だけでなく、中度、重度とステージが進んだ方についても身近な場面を設定しています。

関係者とともに、認知症本人の視点から暮らしの様々な場面における現在の町田市の姿をとらえることで、認知症の人にやさしいまちづくりを進めます。

【開催概要】

- 名称 : まちだDサミット2
～“認知症の人にやさしいまちづくり”のすすめかた～
- 開催日時 : 2月15日(土)午前10時～午後5時15分
- 会場 : 桜美林大学町田キャンパス太平館(常盤町3758)
- 協力 : 桜美林大学

※ 運営については、認知症地域支援推進員、医療福祉関係者、企業、地域団体、学術研究者等30名程で実行委員会を設立し、イベント内容の企画立案、当日の運営、関係者との調整を行いました。

■ プログラム(詳細はチラシ参照)

【午前の部(午前10時～正午)】

認知症の人の目線で、現在の町田市の姿を伝える

- ・基調講演:福祉ジャーナリスト元 NHK アナウンサー 町永 俊雄 氏
- ・ドキュメントムービーの上映(約30分)

認知症当事者の暮らしを、初期から中等度、重度とステージに応じて伝える

- ・対談

町永氏と、NPO 法人町田つながりの開(デイサービス DAYSBLG!) 理事長の前田 隆行 氏とドキュメントムービーに登場した認知症当事者との対談。

【午後の部(午後1時～4時30分)】

「認知症の人にやさしいまちづくり」のすすめかた」を考える9つのセッション

認知症の人にやさしいまちづくりを実践している各分野の方をお招きし、9つの分野に分かれ、その実践者の方が進行役となり認知症当事者と取り組みの現状、今後の方向性やあり方について議論します。

各分野と進行役

時間	A会場(A201)	B会場(A202)	C会場(A303)
午後1時～2時	カフェ 平田 容子 氏 NPO 法人ひまわりの会	介護施設 久松 信夫 氏 桜美林大学 教授	お金のこと 熊倉 千雅 氏 権利擁護センターばあと なあ東京センター長
午後2時15分 ～3時15分	しごと 松本 礼子 氏 HATARAKU 認知症ネット ワーク代表	家族の視点 佐藤 美由紀 氏 佐久大学 教授	お出かけ 能勢 光 氏 株式会社 アイベック
午後3時30分 ～4時30分	学ぶ 浅沼 直樹 氏 社会福祉法人町田市福 祉サービス協会 認知症 介護指導者	病院 村山 秀人 氏 鶴川サナトリウム病院 MSW	買い物 岡田 誠 氏 DFJI 理事

※ 入場無料、定員400名となります。午前中のみ事前申込。

■ 当日の取材の対応について

認知症当事者の方が参加するため、事務局まで事前にご連絡ください。事前にご連絡を頂いた記者の方には、当日受付にてプレス証をお渡しします。